

明和町の近代（明治時代②） ～廃仏毀釈～

はいぶつきしゃく

明治時代は政府により神道を国の宗教としていくためにお寺をなくしていく廃仏毀釈運動が進みました。伊勢神宮のある三重県では特に運動が活発となり、町内でも神宮領にあった9つのお寺が明治2年(1869)までに廃寺となりました。また神社についても、一か所に集めてまとめていく合祀が進められるようになり、明和町内に元々あった100か所以上の神社はやがて、竹大與杼神社、竹佐々夫江神社、畠田神社、明星神社、有爾櫻神社、竹神社、麻績神社の7社に整理されました。

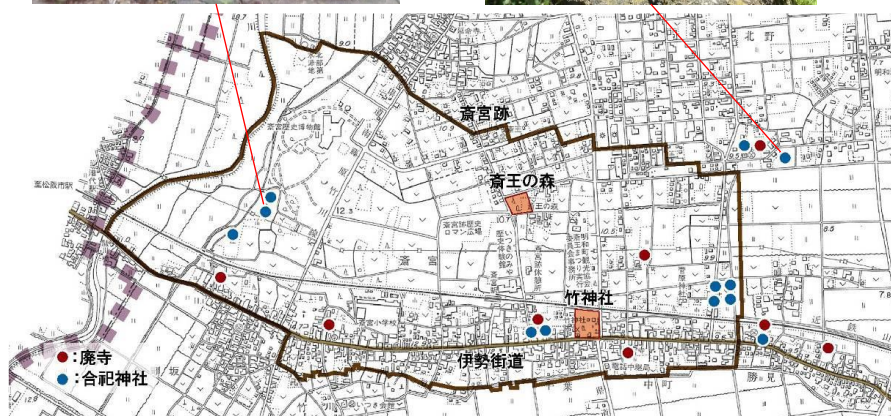
伊勢街道沿いにある竹神社はかつては竹川にありましたが、25の神社が合祀され明治41年(1908)今の場所に建てられました。合祀によってなくなった神社の跡地には、かつて神社があったことを示す石碑が残されており、その歴史を今に伝えています。



旧竹神社跡



丑寅神社跡



齋宮跡周辺の神社とお寺の移り変わり

旧石器

縄文

弥生

古墳

古代

中世

近世 近代



キーワード：神道、廃仏毀釈、神社の合祀、竹神社